



# 会長だより

会長 立澤 比呂志

今年度の研修会、役員会、代表理事会は2月23日の会が最後になります。ご協力ありがとうございました。

恒例の夏期研修会(7/28、29)、会員研究発表会(11/18)、生徒研究発表会(1/21、22)の充実はもちろん、その他に、計10回の研修会、研究授業を実施することができました。放射線に関するものが多かったのが特徴でした。また、都中理研究員の発表が本日ありますが、この都中理研究員制度が発足して5年が経ち、確実に定着し、研究活動の成果も上がっています。全中理大会での発表者も数多く輩出しています。更に、念願の都中理会員名簿も発行することができました。各部、委員会の活動は、まだ十分とはいえないところもありますが、昨年度よりまた一歩活動が進んだようです。

平成25年8月の全中理東京大会を、都中理組織とその活動の更なる活性化に役立てるとともに、東京の理科教育の充実、レベルアップにも大いに役立てるためにも、今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

## 1 都中理組織および活動に関して

### (1) 3部、5委員会の組織づくりと組織としての活動の充実

今年度は、部長、副部長、委員長、副委員長だけで活動するのではなく、各区市町村から選出される部員、委員を定期的に招集し(部会、委員会)、組織として活動できるようにすることとしました。そのためには、各地区の部員、委員へ確実に部会、委員会の連絡を行うとともに、各区市町村から選出される部員、委員だけでなく、やる気のある人材にも積極的に声をかけて集め、組織の充実を図るようにしました。大いに充実したところもありましたが、まだまだ十分でないところもあったようです。各部、委員会は今後、次年度のビジョンある年間活動計画を設定し、確実に実行することが望まれます。

### (2) 5委員会の活動に関して

5つの委員会は平成25年度の全中理東京大会に向けた研究活動を始め、5つの委員会から全中理東京大会の5分科会の発表者をそれぞれ選出するというところでスタートしました。東京大会に向けて、あと半年で、ある程度の成果を出し、12月には東京大会の発表者を決定しなくてはなりません。組織として研究を進め、全国へ提言できるような内容とするためにも、夏休みまでの研究活動が重要になってきます。時間がありませんので、各委員会は、研究推進の計画を今一度確認して、計画的に進めていってほしいと思います。

### (3) 都中理会員名簿の発行

予定より遅くなりましたが、1月に無事発行することができました。全中理東京大会を全都の総力で実施するためにも役立つと思います。

## 2 全中理佐賀大会発表者

第1分科会(教育課程) 台東区立上野中学校 野口 大和 先生

「自然の事物・現象に進んで関わり、科学的見方や考え方を育てる授業の工夫」

第2分科会(学習指導) 荒川区立第九中学校 上田 尊 先生

「脊椎動物・無脊椎動物の学習における継続的な観察を活用した指導法の研究」

第3分科会(環境教育) 小金井市立第二中学校 羽生 章、依田 義史、大河 秀人 先生

「生徒の主体的な行動意欲をはぐくむ環境教育の工夫」

## 3 全中理東京大会に向けて

(1) 実施日について 平成25年8月7日(水)～9日(金)

(2) 会場について 3月中に決定

(3) 大会主題、分科会主題について(別紙参照) 本日、検討 4月に正式決定

(4) 運営委員会組織について 4月に立ち上げ予定